観測所は、現在阿賀川流域には、本流では小谷・門田・宮古・会知・山科・泡の巻・長井の七カ所・支流では湯川日吉・宮川開津・宮川坂下・日橋川塩川・湯川田原の五カ所、それに本流小谷南川原の大川発電所ほか数カ所ある。所属も異なり、連年の観測記録が全部揃っているわけでもない。既に廃止されているのもある。次にその内容を掲げて洪水予知がどの程度になされ、われわれが、どの程度に気をかけてこの土地に住まなければならないかを自覚しておこうと思う。

量水標と警戒水位

河川名	量水標名	位置	設置年月日	零位 東京湾中等潮位上標高	警戒水位	最高記録	集水面積（平方キロ）	備考
阿賀川	小谷	本郷町玉路小谷	大正元・九・二五	二七四・〇				昭和一一・一二・三一廃止
〃	門田	会津若松市飯寺高田橋	大正一四・七・三一 昭和七・五昭和二〇・二左岸大正三・三					
〃	宮古	会津坂下町金上宮古橋	大正一五・一昭和一〇・九・〃一一・五	一七七・五四一	二・〇〇	四・九〇昭和十六年	九六〇・〇	
〃	会知	塩川町堂島会知	明治四三・二・一昭和一〇・九	一六九・〇四一				
〃	山科	喜多方市慶徳山科	昭和四・四・一真木工場内	一六五・一五	三・七〇	七・五四昭和十六年	二、七四一・九	
〃	泡の巻	〃 〃泡の巻	昭和五・四・一八〃五・五・一	一六二・〇〇一六五・〇〇変更				
〃	長井	会津坂下町川西長井	昭和四・七・一〃一一	一五八・九一五四・〇				明治時代福島県で設置位置変更数回昭和一一年四月三〇日廃止
湯川	湯川	会津若松市日吉石塚向	昭和四・四・一〇・九	二一〇・七八七二〇九・一五三				建設省自記